

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成28年 05月 16日

事業事業名	水道料金賦課徴収事務			担当	水道部 水道課 庶務係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8167		
施策名	1	水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和39 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度～ 年度)		
法令根拠	真岡市水道事業給水条例							
予算科目	12.水道事業会計	2.水道事業費用	1.営業費	3.業務費				
事業概要	<p>水道料金は、利用者の閑栓使用届によって閑栓し、使用水量を2か月毎に検針(2か月分を按分)後、料金を計算して毎月請求している。</p> <p>料金徴収業務は、口座振替・コンビニ収納を推奨するとともに休日窓口開設・夜間窓口延長を実施し利用者の利便性向上を図っている。滞納整理については、1か月以上の滞納者に対して、給水停止事前通知・給水停止予告通知を発送後、給水停止を実施することで料金支払いを促している。また、滞納者が転居した場合は、3か月毎に催告書を発送している。さらに、特別徴収として年2回、長期滞納者に対し水道・下水道課職員による一斉督促を実施している。</p>							

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 独立採算の水道事業の健全経営には、賦課徴収は不可欠である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水道利用者から水道料金を徴収し、運営管理費に充当するため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 水道利用者に対し賦課徴収を行う。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 収納率を向上する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止・休止した場合は、財源が確保できないため事業が成り立たない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 下水道・農業集落排水使用料賦課徴収事務
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 下水道・農業集落排水使用料の賦課徴収事務を受託している。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 平成22年度から料金徴収業務の民間委託を行い、トータルコストを削減している。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 平成22年度から料金徴収業務の民間委託を行い、職員数を削減している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 使用水量により料金が賦課されており公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

### (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性）  統合  繼続  
収納率の向上  
・口座振替納付の推進  
・引越し時に現地での料金清算（納付）を促す。

### (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

### (3) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

### (2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）

### (4) その他2次評価会議で指摘された事項

### (5) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		